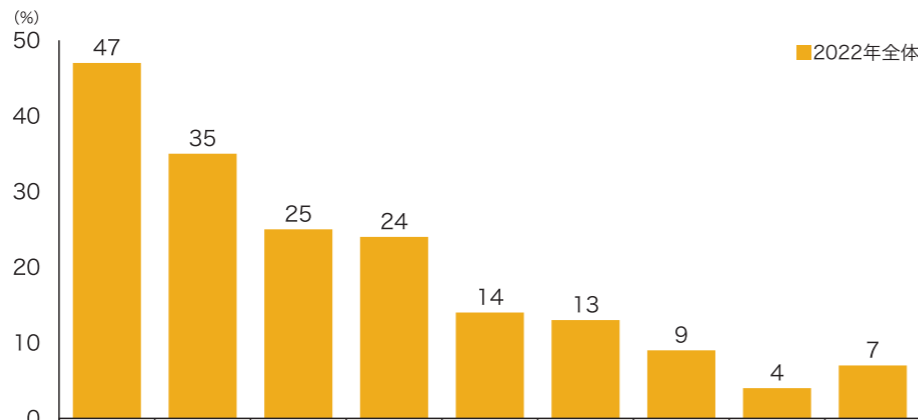


1 いまマンションは買い時だと思ふ理由

2022年マンションを買い時だと思つた理由は「これからは、住宅価格が上昇しそうだから」(47%)がトップで、2019年以降最も高くなり、「いまは、住宅ローン金利が安い」と順位が入れ替わつたことから、今後住宅価格が上昇する前にマンション購入を考える「いまマンションは買い時」だと思つている方が多く見られます。

■買い時だと思つた理由
(買い時だと思つていた人/複数回答)



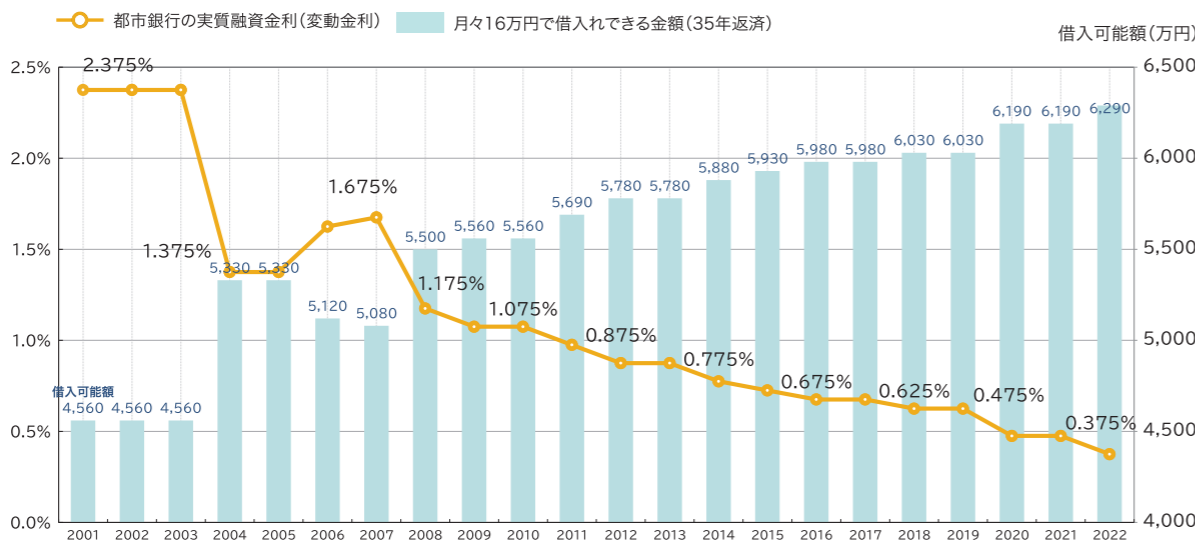
購入検討者	サンプル値 (人)	WB後 サンプル値 (万人)	これからは住宅価格が上昇しそう	いまは、住宅ローン金利が安い	いまは、住宅価格がお手頃	いまは、いい物件がでていそう	いまは、住宅ローン減税が有利	これからは、安定した収入がみこめそう	いまは、消費税が有利	いまは、相続税が有利	あてはまるものはない
2022年全体	674	195	47	35	25	24	14	13	9	4	7
2021年全体	651	176	36	43	25	20	23	8	7	4	8
2020年全体	715	196	22	37	30	25	25	8	5	5	11
2019年全体	581	228	26	41	29	17	18	11	15	5	12
首都圏	103	104	46	33	26	27	15	16	12	3	5

※出典：株式会社リクルート [SUUMOリサーチセンター] 住宅購入・建築検討者調査 (2022年)

2 低金利を活用する

現在、住宅ローン金利は史上最低水準です。20年前の2.375%と現在の0.375%を比較すると・・・月々16万円の返済で借入できるローン金額は約**1,630万円の差**が出ます。6,000万円の借入を行った場合では、**月々約58,000円の返済額の差**が出ます。この低金利の時期にマンションを購入し、住宅ローンをスタートすることをおすすめします。

■住宅ローンの融資実行金利推移



低金利のうちに購入するほうがおトクだね！



※当社調べ、当社の融資実行金利 (実績) のなかでもっとも低いものを算出しています。

3 最大318.5万円が戻ってくる

「住宅ローン減税」とは、住まいを購入する時に住宅ローンを組んでいた場合、13年間ローン残高に応じた金額が所得税や住民税から還付されるというものです。ZEH-M基準を満たしていれば最大**318.5万円** (2025年入居)。さらに、共働きの場合、2人でローンを組むとそれぞれ税金が還付されます。

うちは共働きだから控除額が多そうだね♪



■住宅ローン控除額

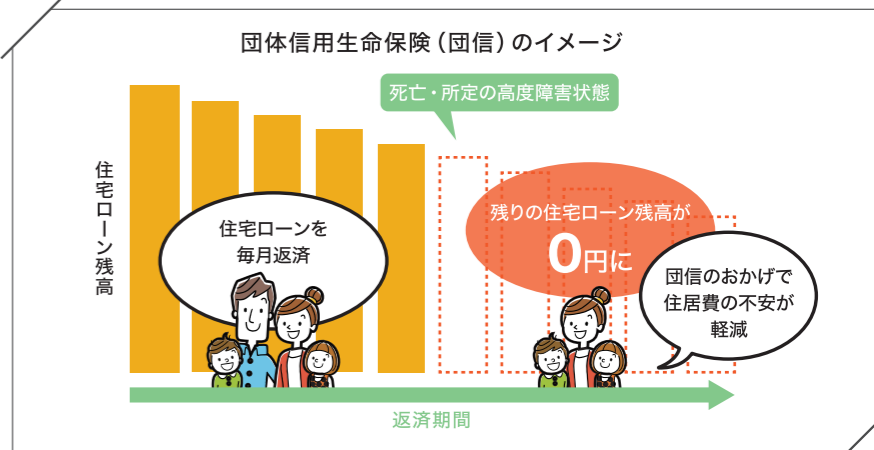
新築/既存等	住宅の環境性能等	借入限度額 (令和6・7年入居)	最大控除額	控除期間
新築住宅 買取再販 ^{※1}	長期優良住宅・低炭素住宅	4,500万円	409.5万円	13年間
	ZEH水準適合住宅	3,500万円	318.5万円	
	省エネ基準適合住宅	3,000万円	273万円	
ウィルローズ篠崎	その他の住宅 ^{※2}	0万円	0万円	

※1.宅地建物取引業者により一定の増改築等が行われた一定の居住用家屋。※2.省エネ基準を満たさない住宅。令和6年以降に新築の建築確認を受けた場合、住宅ローン減税の対象外。(令和5年末までに新築の建築確認を受けた住宅に令和6・7年に入居する場合は、借入限度額2,000万円・控除期間10年間)

4 さまざまな保険がサポート。 万が一の場合は住宅ローンの残高が**0円**に

住宅ローン金利には団体信用生命保険の保険料が込み。さらに銀行によっては、がん保証付きのものや全疾病にも対応した商品があります。万が一の場合、病と戦いながら住居の心配をすることがなくなります。

大切な家族のために万が一も考えないとね♪



5 将来の資産形成ができる

新築分譲マンションの平均価格 (首都圏/戸あたり) は、10年連続で上昇しています。耐久性がよく駅近で利便性の高いマンションは資産性が高く、手に入れることで老後も安心できます。価格上昇が顕著で資産価値は上昇しています。

資産になるから嬉しいな♪



※住宅金融支援機構より

■首都圏の新築及び中古 マンションの㎡単価 (万円/㎡)

